

光触媒でウイルス対策

ワイエムケーユニオン

感染防止対策。プランニングを開始

【東京】食品の冷蔵冷凍ルート配送など軽貨物運送事業を行っているワイエムケーユニオン（山本淳社長、板橋区）は、9月から、新事業として「感染防止対策プランニングVirusKicker（ウイルススキッカー）」の運営を開始した。

ワイエムケーユニオンは、光触媒施工で抗菌・抗ウイルス対策を行うというもので、コーティングした光触媒に太陽光やLEDなどの照明の光が当たると、空気中や付着したウイルスや菌を分解除去する。

同社ではサービスを開始して間もないが、すでに多くの飲食店やトレーニングジムなどで施工を行っているっており、その効果を認めた施工先が同社のウイルススキッカーを口コミで広めてくれている。

感染防止対策プランニングの事業について、山本社長は「弊社は食品の輸送を行っているが、コロナの影響もあって、取引先と同様、ウイルスや菌などには敏感になっている」とし、「こうした状況もあって、新たな事業として光触媒施工をはじめた」という。実際に、5年前から光触媒に目をつけていた同社企画営業担当の井原薫氏は「5年ほど前から、軽貨物運送事業以外に新たな柱となる事業を探していた」とし、「コロナウイルスの感染防止はまだ実証されていないが、光触媒塗料にはアルコールも入っているもので、それなりに効果はある」と期待している。

同社では「ウイルススキッカー」として提供し、食品関係の会社をはじめ、食品を扱っている物流会社などを中心に、施工を強化していく。

同社で考えた。この感染防止対策は、元塗装技術者として軽貨物運送事業を行っているOHANAの菅原健太社長が、元塗装技術者としてこの経験を生かしてパートナーとして光触媒施工も行っており、事業の拡大に合せてさらなるパートナーの募集も行っていくとしている。

（三村秀寿）



（左から）井原氏、山本社長、菅原社長

同社ではサービスを開始して間もないが、すでに多くの飲食店やトレーニングジムなどで施工を行っているっており、その効果を認めた施工先が同社のウイルススキッカーを口コミで広めてくれている。



車両の光触媒施工

同社で考えた。

この感染防止対策は、元塗装技術者として軽貨物運送事業を行っているOHANAの菅原健太社長が、元塗装技術者としてこの経験を生かしてパートナーとして光触媒施工も行っており、事業の拡大に合せてさらなるパートナーの募集も行っていくとしている。